

# 郷土の陶器 楯岡焼

## 藤橋 宣武 陶芸展

企画展示室

平成30年

平成31年

12月7日(金) - 1月15日(火)

— ワークショップ —

楯岡焼 陶芸教室 — 学習室

12月9日(日) PM1:00より



常設展示室

真下慶治 最上川V

平成30年12月7日(金) - 平成31年4月2日(火)



最上川美術館  
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1 TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152  
開館時間/午前9時~午後5時 休館日/水曜日 入館料/大人 300円 小・中学 150円  
E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp HP www.massimo-k.org



郷土の陶器 楯岡焼 藤橋 宣武 陶芸展

会期 平成30年12月7日(金)ー平成31年1月15日(火) 企画展示室

昭和19年楯岡に生まれる。山形東高より東北大に入り、東洋陶器(現TOTO)に入社しました。昭和51年楯岡に戻りました。楯岡焼は昭和52年頃から始めました。親戚の平清水にお住いの漆芸家佐藤正巳先生の紹介で、工業試験所に入所し轆轤の勉強をさせていただきました。その間、村山市内の土探しから始めました。最上川に三難所(基点・三ヶ瀬・隼)があります。楯岡焼は、三ヶ瀬と隼の両難所に挟まれた大淀の土と白鳥(宮下)の土を使用しています。

釉薬には、桑の木・サクランボの木・葡萄・梅・林檎・くぬぎ等の枝の灰、蕎麦の藁の灰を利用しています。東北一を誇る東沢公園の薔薇の枝の灰を利用した作品を多く製作しています。約1350度の温度で焼成することにより、灰釉が効果的に土の特徴を出してきます。

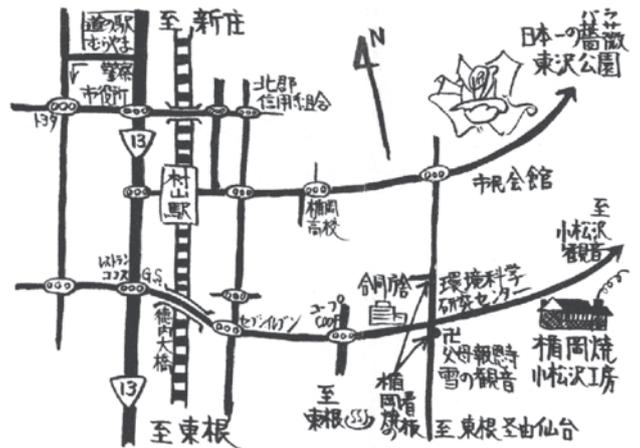
透かし彫りした製品の内側に和紙を貼った、ホッ灯(ランプシェード)も釉薬はバラの灰釉です。壺・花瓶・器等、ご愛用の程よろしくお願いたします。

今後の作陶の為にも、お気づきの点やご意見等は是非お聞かせ下さい。

楯岡焼窯元 小松沢工房 藤橋 宣武



〒995-0025 山形県村山市楯岡小松沢5685  
TEL/FAX 0237-53-2738 定休日 火曜日



楯岡焼 陶芸教室 12月9日(日) 午後1時から  
材料費/1,200円~1,800円 場所/学習室

仕上がりはご連絡いたしましてから美術館に取りに来て下さい  
※申込みは、当美術館までお願い致します。



最上川美術館  
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1

